

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①事業所、関係機関と連携して総合的な就労支援施策を推進	◇就労支援連絡会・日中活動系連絡会合同連絡会	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	第1回6月5日開催 【参加者23名】 近状報告・情報共有 第2回10月2日開催 【参加者19名】 事業進捗報告 第3回令和6年2月2日開催	各事業所の取り組みを知ることができた。 今年度の取り組みに向けての意見交換や、役割分担を行った。	終了・継続 → 同じ・変更	
②福祉施設から一般就労への移行・定着						
③余暇活動の場の確保						
④市民のスポーツ大会・イベント等に障がいのある人が参加する	◇にじカフェ・にじいろマルシェ開催		①にじカフェ・にじいろマルシェ開催に向けての打ち合わせ 毎月開催 【担当者7名】 ②11月25日(土) 10:00～15:00開催 場所：小牧市にぎわい広場駅西エリア 【5事業所参加】 来場者：188名(延べ) クイズラリー参加者96名 アンケート記入者43名	地域の皆様に、福祉サービス事業所を知って頂く機会となり、事業所で扱う商品を販売することができた。 障がいがある人、家族、支援者、関係者の方々が交流する場所となった。 スタッフのみで運営ができた為、ボランティアに参加協力の依頼はしなかった。	終了・継続 → 同じ・変更	マルシェの開催により、障がい者施設による物販の機会の充実を図る。マルシェを行う会場やにじカフェと一緒に進むか検討していく。
⑤障がいのある人の創作活動や展示・発表の場の充実						
⑥障がい者施設による物販の機会の充実						
※						

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き		P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	③とよめサロン利 用活性化プロジェ クトへの協力 9月27日開催 会場：とよめサロ ン 【8事業所参加】 ・物販 ・地域の保健相談 【マルシェ来場者 78名】 1月30日開催 会場：とよめサロ ン 【8事業所参加】 ・物販 ・地域の保健相談 【マルシェ来場者 47名】	地域の方々に、福祉 サービス事業所を知っ て頂く機会となり、事業 所で取り扱う商品を販 売することができた。 平日にどこにも通って いない利用者に案内し たことで来場され、余 暇の時間を過ごすこと ができた。	終了・継続 → 同じ 変更	マルシェを開催することで、 地域の方々に、福祉サービス 事業所のPR、物販の促進に 繋がる。また、利用者に案内 することで、余暇の時間を提 供することができる。 今後も、とよめサロン活性化 プロジェクトへ協力していく。
	◇にじいろマル シェ こまき社協だより (12月号掲載) ◇小牧市内で行う マルシェの情報共 有、参加		10月号のこまき社 協だよりにて、に じいろマルシェを 11月25日に開催す ることを掲載 チラシ・ポスター で周知する。 11月こまき広報で にじいろマルシェ 開催を掲載	社協だよりや広報こ まきを見て来場して くれる方がいた。	終了・継続 → 同じ 変更	マルシェの広報により、障 がい者理解を進めていく。 また、障がい就労施設によ る物販の機会の情報提供を する。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇小牧市内のスポーツ大会や、文化芸術活動の情報共有、参加	P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	①サンデーボランティア協力 身体障害者福祉協会主催 「ボッチャ教室」 7月よりふれあい総合相談支援センターの相談支援専門員が利用者へ試験的に参加呼びかけた。 9月より、事業所向けに案内開始。 参加者 7月：17名 8月：15名 9月：16名 10月：18名 11月：18名 12月：18名 1月：27名	①・呼びかけた利用者の中では、「楽しかった」と、継続して参加されている。 ・日中活動系・就労支援・こども・相談支援事業所連絡会に定期的にメールやチラシを配り、徐々に周知ができてきた。 ・余暇活動の場のひとつとなってきた。 ・令和6年1月より個人ボランティアが参加し、審判の協力を得ている。	終了・継続 → 同じ・変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き		P. 22 P. 23 P. 38 P. 46 P. 47	②10月より、とよめサロンにて福祉サービス事業所の作品展示。	②とよめサロンの作品展示スペースの環境を整えた。今後事業所への呼びかけを行っていく。		
	◇障がい者が働く事業所ガイドブックの更新		◇2月末に、完成予定で校正中		終了・継続 → 同じ・変更	
	◇市の調達方針に沿って優先的に発注を行い、施設などの仕事を確保		障がい福祉サービス事業所一覧や各日中・就労・こども連絡会、はじめのいっぽなどの冊子印刷や、会議の議事録作成、こまき福祉のおしごとフェアのポスターや、チラシ、クリアフォルダ作成を依頼した。	優先的に福祉サービス事業所に発注をすることができた。	終了・継続 → 同じ 変更	障がい者就労施設等からの物品の調達や役務の提供により、障がいのある人の就労を支援する。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
<p>①障がいのある人の雇用促進に関する広報・啓発活動の取り組み、企業などの理解・協力を推進</p>	<p>①障害者雇用支援月間にポスター配布・掲示依頼を行った</p> <p>②小牧市障害者雇用促進奨励金を支給</p>	<p>P38</p>	<p>①9月ポスター掲示 ・就労継続支援事業所 21事業所 ・委託相談支援事業所 6事業所 ・春日井公共職業安定所 ・尾張北部障がい者就業・生活支援センター ・小牧市役所 ・小牧市社会福祉協議会</p> <p>②32事業者に対して、奨励金を支給 【雇用者62名】</p>	<p>①ポスター配布・掲載により、雇用促進に関して、企業への理解に繋がっていきけるように働きかけができた。</p> <p>②障害者雇用促進に一定の効果があった。</p>	<p>終了・継続・変更 (※)</p> <p>終了・継続 → 同じ変更</p>	<p>①来年度も継続して、障害者雇用支援月間にポスター掲示依頼を行い、理解推進に繋がっていく。</p> <p>②直接的な補助金があることで、企業としては人件費を抑制することができる。</p>

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更